

# くにみ 議会だより

KUNIMI

No.197  
3月議会号

議会だよりは  
議会ホームページからも  
ご覧になれます



## くにみの農業の未来への懸け橋として

くにみ農業ビジネス訓練所長期研修修了後、令和4年4月から石母田地区に移住し、野菜をメインに新規就農した田代誠さん（石母田西）。新規就農者で組織されるあつかし農友会の会長としてマルシェ等にも参加するなど農産物PRに貢献しています。

### 3月定例会

くらし・つながる予算「命を大切に  
誰もが幸せに暮らすまち くにみ」  
(令和5年度当初予算) P2

被災家屋解体事業などを増額  
(令和4年度補正予算) P10  
一般質問  
(くにみ学園基本構想等について10人が登壇) P15

# 一般会計 59 億円

# つながる予算

誰もが幸せに暮らすまち くにみ」

令和5年度一般会計当初予算

持続可能な地域社会と  
地域活力向上のための  
予算を計上

令和5年度の当初予算は59億円で、前年度に比べ5億円(9.3%)増となり、全員賛成で可決しました。

第6次国見町総合計画の3年目である令和5年度は、基本理念である「命を大切に 誰もが幸せに暮らすまち くにみ」を実現するた

めの「6つのまちづくり」推進とともに、令和4年度に策定された「国見町過疎地域持続的発展計画」に基づく各種事業の推進により、

持続可能な地域社会と地域活力向上の実現を目指します。

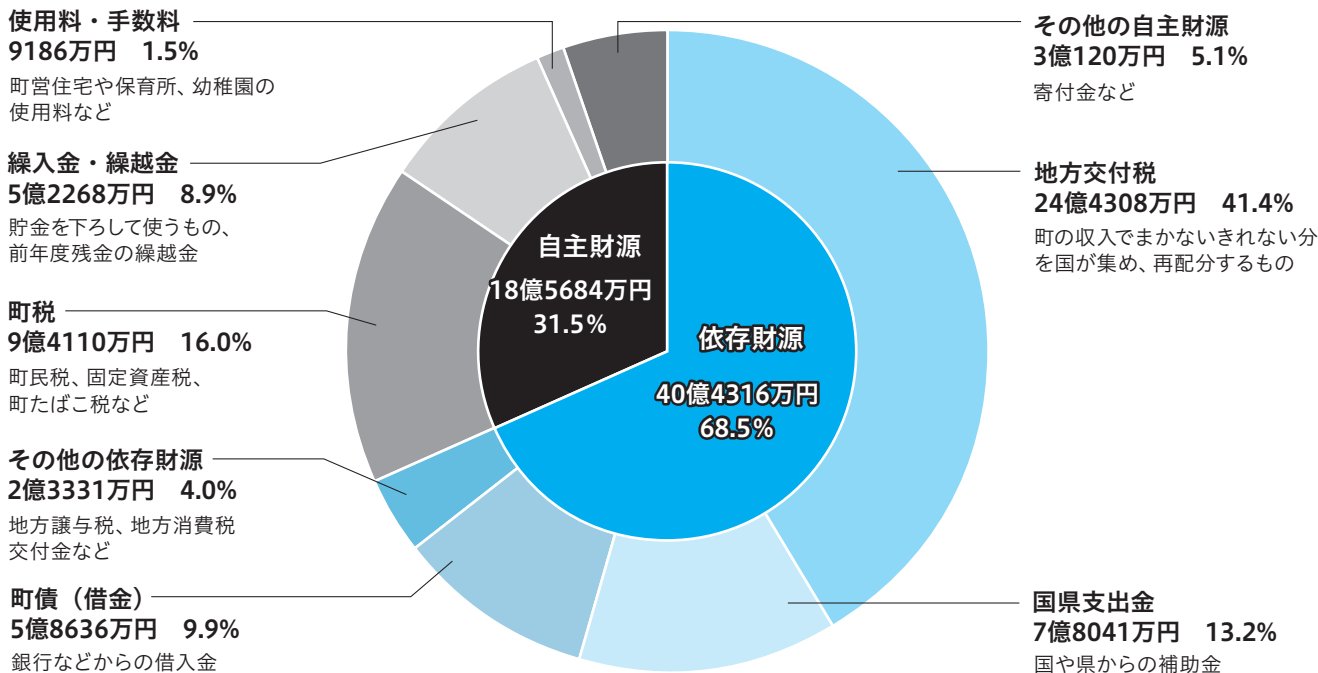
歳出

健やかに暮らせるまちづくり

- 集団検診事業
- 健康増進事業
- 結婚新生活支援事業

2119万円  
311万円  
225万円

## 歳入 59億円





令和5年度に更新を予定している防災無線基地局

# 令和5年度

# くらし・

# 「命を大切に

## 安全・安心な優しいまちづくり

- 町道4号線改良舗装事業

1億円

- 防災行政無線線更新事業

9218万円

- 観月台公園改修基本設計事業

500万円

## 未来につながるまちづくり

- 観月台文化センター改修事業

2197万円

- ICT教育推進事業

731万円

- すくすくもさぼ祝金事業

525万円

## 恵まれた資源を活かしたまちづくり

- 新規就農者育成総合対策事業

3206万円

- 地域おこし協力隊事業（農業部門）

2980万円

- まちなかインキュベーション事業

200万円

## 相互理解と共感のあるまちづくり

- ふるさと納税事業

2億円

- 公共施設予約システム構築事業

613万円

- コンビニ交付事業

191万円

## 町として生きるまちづくり

- 地域おこし協力隊事業（企画部門）

4037万円

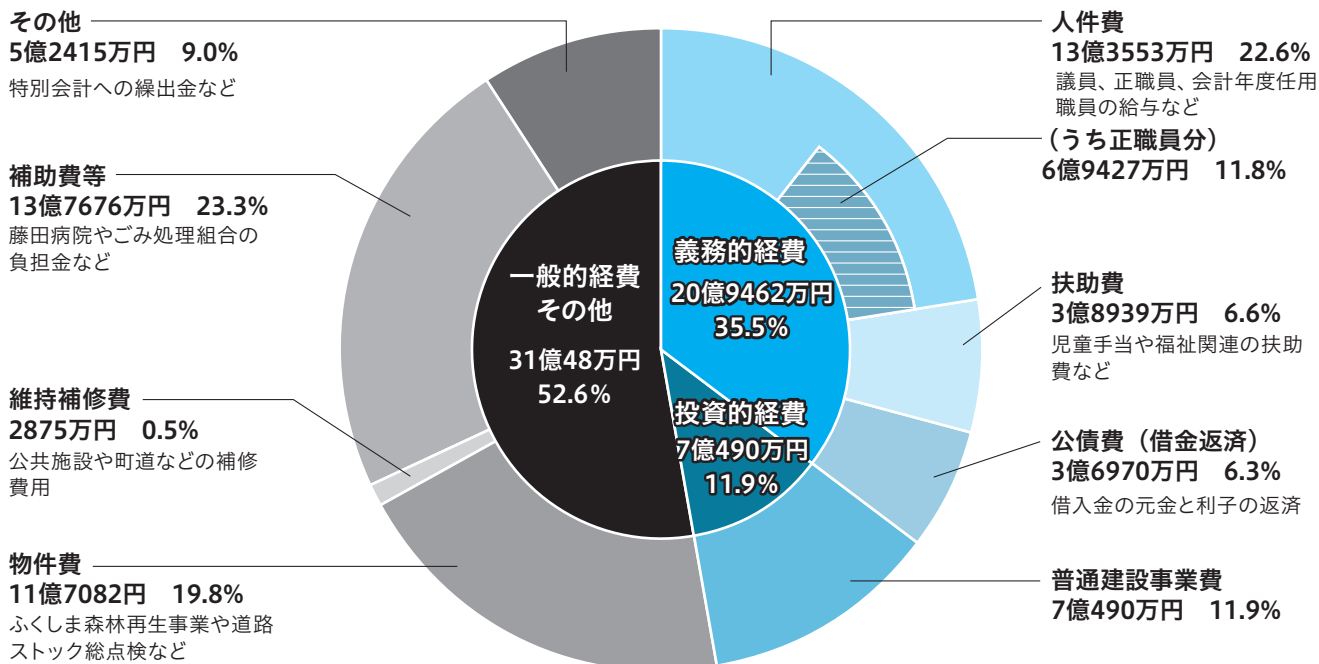
- 移住・起業・新規就業支援補助金

1570万円

- 地域プロモーション事業

1357万円

## 歳出 59億円



# くみにみ学園構想推進事業委託費 1200万円は今後の補正予算 にて取り下げる

令和4年12月定例会で可決された「くみにみ学園構想基本計画」策定業務委託費3000万円について、繰越明許費3000万円が補正予算から削除する修正動議が提出・可決されたことを受け、令和5年度の委託費1200万円についても、町が今後の補正予算で取り下げることとを表明しました。  
(修正動議の記事は10ページに掲載)

## 当初予算の主な質疑

### 令和5年度 一般会計予算

### 地域活性化起業者 の委託費は必要か

#### 問

(佐藤定男議員)

くみにみ学園構想の地域活性化起業者に1200万円計上されているが、補正予算で否決された以

上、必要のない予算ではないか。

また、今後は町民の理解を得られるように努めることだが、具体的にはどのように行うのか

#### 教育長

繰越明許費3000万円が削

除されたことから、令和5年度当初予算の1200万円については、補正予算で減額する。町民への説明については、今後も丁寧に続

けて行きたいと考えている。

### アドバイザー委託料とはなにか

#### 問

(宍戸武志議員)

国からの予算等で、アドバイザー委託料・新産業創造プロジェクトの予算がついているが、どのようなものか。

#### 企画調整課長

総務省が管轄する地域創造力アドバイザー制度の登録者

令和5年度各会計当初予算

会計名	令和5年度 当初予算	前年度対比		
		増減額	増減率	
一般会計	59億円	5億円	9.3%	
特別会計	国民健康保険	10億4762万円	△2607万円	△2.4%
	介護保険	14億9219万円	△1613万円	△1.1%
	後期高齢者医療	1億5846万円	696万円	4.6%
	土地開発事業	0.4万円	0万円	0%
	湯水対策施設	1220万円	275万円	29.1%
	入山財産区	25万円	6万円	28.9%
	大木戸財産区	16万円	1万円	5.9%
	石母田財産区	118万円	△1654万円	△93.4%

水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億4505万円	2億4767万円
資本的収支	3200万円	1億985万円

※資本的収支の差は損益勘定留保資金、減債積立金で補います。

下水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億2094万円	2億2038万円
資本的収支	6534万円	1億5167万円

※資本的収支の差は消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金で補います。

### 肥料等の高騰に 対する対応は

#### 問

(渡辺勝弘議員)

今年度の肥料は、昨年の倍程度に高騰している。当町の基幹産業である農業支援として、5年度の補助事業はないのか。

であり、市町村の課題解決に知見がある専門家を派遣する制度で、それに対する委託料である。

今後高騰が速やかに支援策を検討する。

### まちづくり会社 への指定管理料 追加分の内容は

#### 問

(山崎健吉議員)

まちづくり会社への指定管理料に740万円が追加されているが、何がどのように変更されたのか。

## 産業振興

木育広場は、5年度から新たにまちづくり会社に運営を委託し、農産物加工施設は、利活用の促進に向け、それぞれに指定管理料を新設するもの。

## 町単独事業の道路改良舗装事業はどこか

### 問

(蒲倉 孝議員)

町単独事業の場所と路線名はどこか。

**建設課長** 町道4007号員田山ノ神前地内の旧国道からサービスエリアへの新たなアクセス道路整備のための測量、町道2092号藤田駅前ロータリー整備計画の測量、町道3056号大字森山字上鷲町地内の住宅地の改良工事、町道3121号徳江字団扇地内の道路改良工事設計を計上した。

## 消防設備の整備について

### 問

(渡辺勝弘議員)

防火用水2基・消火栓2基となつていますが、消防・防災の施設整備はこのペース配分で間に合うのか。

### 町長

予算の都合とはいえ、十分ではないと認識している。

今後、消防団の意見を聞き、検討していきたい。

## くにみ学園構想の理念の解釈変更は

### 問

(松浦常雄議員)

0歳から15歳までの施設を一体化する考えを改め、保育所・幼稚園を一体とし、小・中学と区別する考えはないか。

### 教育長

0歳から15歳の理念については、策定委員会(専門家、保護者代表、先生、保育士)で検討しているが、今後も住民や保護者の皆さんへ丁寧

に説明していきたい。

## 観月台公園の改修は

### 問

(蒲倉 孝議員)

観月台公園リノベーション基本設計業務の

内容を伺う。

**総務課長** 前回改修から30年を過ぎており、公園

管理会などの意見を伺いながら改修のための基本設計を策定し、固まったところで実施設計に入る予定である。

### 問

公園内にある橋の入口に張られたロープが緩んでおり、誰でも入れる状態。すぐに応急処置をするのか、それとも完全封鎖するのか、予定をお聞きしたい。

### 総務課長

維持管理上の問題があると判断した場合、早急に対応したい。

## 育英事業の解釈は

### 問

(浅野富男議員)

基本的な人権である教育を受ける権利は全ての国民にあるが、今回の奨学金返還支援補助金交付制度の対象として、卒業後、正規雇用で就業している者があるが、非正規雇用を除外したのはなぜか。

### 教育長

正規雇用・非正規雇用については、区別していない。あくまで定住し、1週間に20時間以上勤務していれば問題は無いので、ご理解願いたい。



現在供用を停止している観月台公園内の橋

## 過疎債の運用は 大丈夫か

**問**

(佐藤定男議員)

町債が前年と比べ  
ると倍近く伸びている。過  
疎債だと言うが、交付税措  
置はあるとは言え、いずれ  
返済しなければならぬ。  
町債についての調達と返済  
をどのように進めて行くの  
か。

**総務課長**

過疎債について  
は、70%が交付税と  
して措置されるが、当町へ

の配分上限もあるため、一  
般財源のバランスを見なが  
ら検討する。

## 地域おこし 協力隊の活動は

**問**

(村上 一議員)

町の基幹産業であ  
る農業に定住して研修を行  
う事業とはなにか。

**産業振興課長**

3年間果樹農  
家で研修し、技  
術を習得後、4年目以降に  
当町に移住・定住して農業  
を続けていただくなど、町

## 職員の超過

### 勤務は適正か

**問**

(八島博正議員)

監査の指摘事項に  
ある月100時間を超える  
職員を減らすべきとの指摘  
についての対応は。

**副町長**

労働安全衛生  
委員会を通じた  
超過勤務縮減の取り組み、  
組織見直しによる業務の効  
率化、人材育成による職員  
のスキルアップなどにより  
対応していく。

## 交流連携推進事業 で雇用の拡大は

**問**

(八巻喜治郎議員)

この事業によって  
どの程度の雇用の拡大を考  
えているのか。

**企画調整課長**

官民連携で当  
町の問題を解決  
する取り組みであり、具体  
的な事業展開については、  
今後慎重に検討していく。

## 住民票・印鑑証明書の コンビニでの交付は

**問**

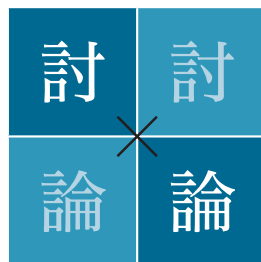
(山崎健吉議員)

全国のコンビニで  
住民票・印鑑証明書を取得  
できるとされているが、実  
施時期はいつか。

**住民防災課長**

マイナンバー  
カードを利用  
し、各コンビニにある多機  
能複写機により、令和5年  
4月からの交付を予定して  
いる。国の交付センターに

繋がっていれば、朝から夜  
11時まで、土日でも発行で  
きる。



(浅野富男議員)

マイナンバーカードの普  
及を促す事業は、国民を管  
理することに繋がると考え  
る。また消費税の  
交付金について  
も、物価高騰の中  
にあつては、不公  
平税制の最たるも  
のであり反対す  
る。

一方、その他の  
予算については、  
評価される面もあ  
るため。予算案に  
は賛成する。

### ■ 町債(借金)の残高

会計名	令和4年度末 借金残高	令和5年度末見込 借金残高
一般会計	58億3728万円	60億7067万円

### ■ 基金(貯金)の残高

会計名	令和4年度末 貯金残高	令和5年度末見込 貯金残高
財政調整基金	8億6510万円	5億6512万円
復興基金	1億5490万円	1億490万円
ふるさと 振興基金	9822万円	1億2266万円
その他の基金 (一般会計)	8億1331万円	7億8654万円
基金総額 (一般会計)	19億3153万円	15億7922万円



# 令和5年度 町長施政方針 (要旨)

基本理念：命を大切に 誰もが幸せに暮らすまち くにみ

## ① 健やかに暮らせるまちづくり

- 公立藤田総合病院の安定した経営継続に取り組み、町民の健康維持・増進に取り組む。

## ④ 恵まれた資源を活かしたまちづくり

- くにみ農業ビジネス訓練所での研修に加え、地域おこし協力隊を活用した農業後継者の育成とともに、農商工連携による企業支援や開発支援に取り組む。
- 町加工施設を活用した6次化事業の支援とスマート農業の具現化に向けた対応を図る。

## ② 安心・安全な優しいまちづくり

- 住民防災課内に危機管理係および生活交通係を創設し、防災体制強化、町内の公共交通充実を図る。
- 危険な道水路の監視強化・改良推進に取り組む、SDGsの理念を踏まえ、誰も取りこぼさない、全ての人に寄り添う優しいまちづくりを目指す。

## ⑤ 相互理解と共感のあるまちづくり

- タウンミーティングを引き続き開催する。
- ふるさと納税事業の充実や、自治体版コーポレートアイデンティティ事業による町のブランドイメージの確立を目指す。

## ③ 未来につながるまちづくり

- 「くにみ学園構想」策定を進め、若者定住の促進、奨学金返還支援補助、教育支援センターの充実による不登校、いじめや障害のある児童生徒への支援、ICT教育などの推進に取り組む。

## ⑥ 町として生きるまちづくり

- 企画調整課内に過疎対策係を創設し、過疎地域持続的発展計画に基づく自律できるまちづくりを推進する。
- 空き家の利活用による子育て世代や就農を目指す若者の移住促進、二地域住居や交流人口の拡大を視野にした、新たな価値につなげる取り組みを推進する。



国見町過疎地域持続的発展計画

総合計画の「6つのまちづくり」と過疎計画の推進で  
「くらし・つながる」を実現

## 条例制定

# 議会個人情報保護 条例を制定

「個人情報の保護に関する法律」の改正により、地方公共団体の個人情報保護条例は改正法に統合されることになりましたが、その一方で、議会はこの適用から除外とされました。

これを受け、議員発議による議会独自の個人情報保護条例が提案されました。

### 国見町議会個人情報保護条例

(要旨) 令和3年5月に公布された「デジタル社会の形成を図るための関係条例の整備に関する法律」に伴う「個人情報の保護に関する法律」の改正により適用除外となる議会における個人情報保護を、その取扱いについて、執行機関との差異が生じないようにするもの。

**問** (佐藤定男議員)  
町長等の給与をなぜ減額するのか。

**町長** 昨年2月のロシアとウクライナの問題や、その後の世界経済の不安定さ、長引くコロナ不況、そういったいろいろな状況を勘案して、自らの給与について判断し、その上で今回、給与の減額案を提案した。

**問** (渡辺勝弘議員)  
町長として、なぜこのタイミングで減額しなければならぬのか、なぜやる必要があったのか、その辺を伺う。

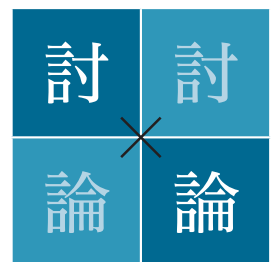
**町長** 町長等の給与を元に戻すべきだという、令和3年度の特別報酬等審議会の答申があった中、再びすぐに減額をしようという踏み切れなかった。1年間いろいろ考えた結果、令和5年4月からの減額を決心し、今定例会に提案したものである。

## なぜ町長等の給与を減額するのか

(全員賛成で可決)

### 国見町長等の給与の特例に関する条例

(要旨) 国見町長等の給料月額を、令和5年4月1日から令和6年11月26日までの間、町長は15パーセント、副町長は10パーセント、教員は5パーセント減額するもの。



### 反対討論

(渡辺勝弘議員)

与えられた給与の分しっかり仕事をすること、町民の意見をしっかりと聞き、説明責任を果たすことが一番大切であり、安易に下げることが町民にとって良いことだとは思わない。よって本案には反対する。

### 賛成討論

(佐藤定男議員)

私は町長の考え、今までどおり仕事をまっちゃんり、むしろ、今まで以上に気を引き締めてやるという気持ちには伝わっているので、本案について賛成する。

(賛成多数で可決)

## 議案審議 結果

※下記以外の議案は全員賛成で可決されています。

議員名	議決結果	蒲倉 孝	八巻喜治郎	宍戸 武志	山崎 健吉	小林 聖治	村上 一	佐藤 定男	渡辺 勝弘	松浦 常雄	浅野 富男	八島 博正
議案第3号 国見町長等の給与の特例に関する条例	可決	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○

○：賛成 ●：反対 □：討論者

※議長(東海林一樹)は採決に加わらない。



入居する起業家たちと地元住民との間に一定のルールが必要では

国見町チャレンジ  
オフィス条例

(要旨) 地域経済の活性化及び起業又は就労機会の拡大、町内への移住定住促進のため、国見町チャレンジオフィスを設置するもの。

特別な配慮の定義  
は何か

国見町教育支援  
委員会条例

(要旨) 教育上、特別な配慮を要する幼児、児童及び生徒の教育充実を図るため、教育委員会の附属機関として、教育支援委員会を置くもの。

国見町中小企業・小  
規模企業振興条例

(要旨) 中小企業及び小規模企業の多様な活力ある成長と発展により、地域経済の安定と町民生活の向上を図るため、条例を制定するもの。

(全員賛成で可決)

以下の条例については全員賛成で可決されました。

・国見町個人情報保護法施行条例

・改正個人情報保護法施行に伴う関係条例の整理に関する条例

## 条例改正

### 監査委員会事務局 の体制を明確化

国見町監査委員条例の  
一部を改正する条例

(要旨) 監査委員に事務局

を置き、事務局長、書記及びその他の職員を置くもの。

問 (山崎健吉議員)  
事務局を置くという  
ことは、監査委員会とい  
うか独立した機構になると  
いうことか。

総務課長 もともと行政委員  
会として独立した機  
関ではあるが、体制が明確  
でなかったため、事務局に  
専任の職員を配置できる旨  
明記するということであ  
る。

### 印鑑証明書、住民票は コンビニでも交付可能

国見町印鑑登録の登録  
及び証明に関する条例  
の一部を改正する条例

(要旨) 印鑑登録をしてお  
り、利用者証明電子証明書  
を利用できる者は、コンビニ  
ニにおいて印鑑証明書の交  
付を受けることができるも  
の。

問 (佐藤定男議員)  
印鑑証明書のほか  
に住民票とかの発行もでき  
るのか。

住民防災課長 印鑑証明書と  
住民票の発行を  
予定している。

問 (佐藤定男議員)  
印鑑証明書発行の  
際は、マイナンバーカード  
が必要になるのか。

住民防災課長 マイナンバー  
カードを利用  
し、暗証番号により発行す  
る。

以下の条例については全  
員賛成で可決されました。

・国見町情報公開条例の一  
部を改正する条例

・職員の給与に関する条例  
の一部を改正する条例

・国見町手数料徴収条例の  
一部を改正する条例

・国見町国民健康保険条例  
の一部を改正する条例

・国見町道路路占用料徴収条  
例の一部を改正する条例

・国見町議会会議規則の一  
部を改正する規則

問 (浅野富男議員)  
近隣住民とのトラ  
ブルを防ぐため、例えばみ  
んなで草刈りをするとか、  
一定のルールについても説  
明する必要があるのではな  
いか。

企画調整課長 町内会の行事  
や周辺の整理、  
草刈りなどは、常識的なこ  
とでもあるので、入居審査  
の際に説明し、指導してい  
きたい。

(全員賛成で可決)

問 (浅野富男議員)  
「特別な配慮を要  
する」の定義とは。

学校教育課長 就学時健康診  
断で心身に障害  
があると認められた場合や  
学校生活の中で、特別支援  
教育を受ける必要があると  
認められた場合、また保護  
者からの相談があった場合  
などを対象と考えている。

(全員賛成で可決)

# 一般会計補正予算繰越明許

## 費について

### 質疑

繰越明許と  
する理由は

**問** (蒲倉 孝議員)  
大坂団地のリノ  
ベーション事業はなぜ繰り  
越しなのか。

越しなのか。

**課長** リノベシヨ  
ン事業の工事は  
昨年11月から進めている  
が、資材調達等の遅れや到  
着の遅れが重なり、やむを  
得ず繰り越したいとするも  
の。

**問** (八島博正議員)  
被災家屋解体事業

で10億5700万円、土木  
費住宅応急修理事業で1億  
100万円を繰越明許しな  
ければならない理由は。

**住民防災課長** 昨年3月の地  
震で家屋等が多  
くの被害を受け、家屋の解  
体工事、廃棄物処理事業が  
180件あり、現在は60件  
超が進行中。件数が多く繰  
越せざるを得ない。

**建設課長** 応急住宅修理につ  
いては、約700件  
の申請があり、完了してい  
ない件数は200件近くあ  
る。全体的な地震災害で工  
務店の仕事が進まない  
のが一番の原因である。

**課長** リノベシヨ  
ン事業の工事は  
昨年11月から進めている  
が、資材調達等の遅れや到  
着の遅れが重なり、やむを  
得ず繰り越したいとするも  
の。

**問** (蒲倉 孝議員)  
くにみ学園基本計  
画策定事業の3000万円

画策定事業の3000万円

繰越明許について、基本構  
想、理念の理解が深まって  
おらず、構想自体も策定さ  
れていないのに繰り越しな  
のか。

**教育長** 12月議会での  
説明のとおり、  
基本構想が出来てからの発  
注ということを考えてい  
る。基本構想は令和5年も  
検討を継続することになる  
ため、繰越明許をお願いし  
ている。

12月議会での  
説明のとおり、  
基本構想が出来てからの発  
注ということを考えてい  
る。基本構想は令和5年も  
検討を継続することになる  
ため、繰越明許をお願いし  
ている。

※「繰越明許費」  
予算化しているが、事  
情により年度内に執行で  
きない場合、議会の承認  
を得て、翌年度に繰り越  
して支出できる経費を言  
う。

## 令和4年度一般会計 補正予算(第6号)のおもな内容

【主な事業】	
・公用車購入	300万円
・出産・子育て祝金	260万円
・健康管理システム改修費	103万円
・保育所及び幼稚園保育用備品購入	247万円
・子供クラブ遊戯室エアコン更新工事	141万円
・被災家屋解体事業	1億8757万円
・町道111号線改良舗装工事	1960万円
・災害備蓄品購入	100万円
・国見小学校及び県北中学校監視カメラ設置工事	80万円
・国見小学校及び県北中学校感染症対策消耗品、燃料費・電気料高騰による補正	459万円
【予算に計上済みだが、令和5年度に繰り越しが決定した主な事業】	
◎大坂団地リノベーション事業	5000万円
◎鳥取地区森林整備事業	2499万円
◎屋根耐風改修支援事業	700万円
◎被災家屋解体事業	10億5743万円
◎中央集会施設及び社会体育施設トイレ洋式化事業	2519万円
◎観月台文化センター災害復旧事業	3451万円

## 事業費の 減額理由は

**問** (渡辺勝弘議員)  
集落営農活性化化  
プロジェクト促進事業が12  
74万円もの大幅な減額に  
なっているが、その理由  
は。

集落営農活性化化  
プロジェクト促進事業が12  
74万円もの大幅な減額に  
なっているが、その理由  
は。

**課長** 産業振興  
場整備を契機に  
設立された貝田コネク  
トファームが、ミニライ  
スターを新設する事業で、  
当初は建物と乾燥機の両  
方を国庫補助事業で取り  
組む予定だったが、最終  
的に乾燥機のみ国庫補助  
事業として導入すること  
にしたため。

産業振興  
場整備を契機に  
設立された貝田コネク  
トファームが、ミニライ  
スターを新設する事業で、  
当初は建物と乾燥機の両  
方を国庫補助事業で取り  
組む予定だったが、最終  
的に乾燥機のみ国庫補助  
事業として導入すること  
にしたため。

## 問

(八島博正議員)

福島県営農再開事業の1579万5000円の減額、果実ひょう害対策緊急支援事業の1272万2000円の減額について伺う。

## 産業振興課 課長

福島県営農再開事業は、元々は原発事故によって被害があった樹園地の改植事業だが、12ヘクタール分の予算に対する申込実績が、7ヘクタールであった。現在、第2期復興創生期間中で残り3年あり、次年度以降も取り組んで参りたい。果実ひょう害対策緊急支援事業については、補助対象が3割以上の被害のあった樹園地のみだったため、減額となった。

## 免許証返納事業について

## 問

(村上 一議員)

高齢者運転転免許証返納事業の内容について伺う。

## 福祉課長

町では、高齢者の方が運転免許証を返納された際に、運転免許返納の申請日から1年間使用できるタクシー券を1万円分給付している。今年度においては、2月末までに30名の方から申請があった。

## 学校施設工事の内容は

## 問

(山崎健吉議員)

小学校及び中学校学校管理費の工事請負費、各々40万円の内容は。

## 学校教育課 課長

幼小中PTA連絡協議会からの要望を受け、防犯カメラを設置するものである。

## 個人情報の管理は

## 問

(浅野富男議員)

個人情報も記録されるが管理はどうなるのか。

## 総務課長

町では防犯カメラ条例に基づいて管理しており、心配はないと考えている。

## 地方自治の振興発展に尽力

### 全国町村議会議長会自治功労者表彰

2月8日、全国町村議会議長会定期総会において、当町議会の東海林一樹議長(議長在職7年)、松浦常雄副議長(議員在職15年)、渡辺勝弘議員(同上)が自治功労者として表彰されました。3名には、3月定例会の席上で表彰状が伝達されました。



表彰状が伝達された(左から)松浦副議長、東海林議長、渡辺議員

## 人

## 事

### 国見町入山財産区管理委員の選任に同意

令和5年5月5日任期満了のため、次の7名の選任に同意しました。

中野 一雄氏 (鶉町・再任)

菊地 勝芳氏 (石母田原・新任)

佐藤 武夫氏 (第2・新任)

斎藤 規雄氏 (第8・新任)

後藤 克好氏 (高城・再任)

阿部 洋一氏 (大木戸・再任)

鈴木 一之氏 (川内・新任)

# 修正案提出

# 可決

(賛成6人・反対5人)

今定例会に町長より提出された「令和4年度一般会計補正予算(第6号)」について、3月7日、繰越明許費からくみ学園構想基本計画策定業務に係る繰越予算の削除を求める修正動議が、小林聖治議員、山崎健吉議員、穴戸武志議員より提出され、賛成多数により可決されました。

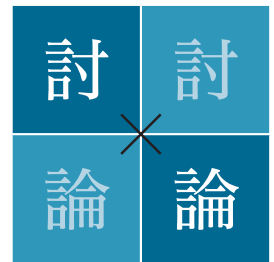
## 修正内容

令和4年度一般会計補正予算(第6号)の第2表「繰越明許費」から、くみ学園構想基本計画策定業務委託費3000万円を削除するものです。

## 提案理由

(小林聖治議員)

くみ学園構想基本計画事業については、その前段である基本構想が未策定であり、また、町民への説明も十分にされておらず、繰越明許として計上しても事業として実行されない可能性がある。このことから、本事業費に係る予算を繰越明許費から削除する必要がある。



### 反対討論

(八島博正議員)

国見町は、子供の教育に対して理想を追求し、どうあるべきかを政治家や教育委員会などが子供たちの教育のためにやってきた。新しい時代に向けた町の教育のあるべき姿を皆で考えることである。その為に、この事業継続のため繰越明許として残さなければならぬ事業だと思う。よって、修正案に反対し、原案に賛成する。

(浅野富男議員)

少子化の中、教育のスタイルも変える必要があると思う。私は、基本構想の成案ができた段階で議論をし

### 賛成討論

(山崎健吉議員)

0歳から15歳までの教育に一貫校が必要であると町長も教育長も言明しているが、まだまだ町民にも我々にも行き通っていない。私は、保育所と幼稚園を、「認定こども園」とし、小学校と中学校の児童・生徒の推移を見ながら、義務教育課程を進めてほしい。よって原案に反対、修正案には賛成。

(佐藤定男議員)

町としても町民への説明や伝え方が足りなかったの、今後説明する必要があるので、今後説明する必要があるので、繰越明許の3000万円は一旦削除して町民の理解を得た上で予算化するべき。

よって、私は、修正案に賛成する。

## 議案審議結果

※下記以外の議案は全員賛成で可決されています。

議員名	議決結果	蒲倉 孝	八巻喜治郎	穴戸 武志	山崎 健吉	小林 聖治	村上 一	佐藤 定男	渡辺 勝弘	松浦 常雄	浅野 富男	八島 博正
議案第14号国見町一般会計補正予算(第6号)に対する修正動議について	可決	●	○	○	○	○	●	○	●	○	●	●

○：賛成 ●：反対 □：討論者 ※議長(東海林一樹)は採決に加わらない。

(松浦常雄議員)

新しい学校を作らなければならぬ必然的理由がない。専門家がまとめた理想的な構想は立派だが、それらは既存の建物でも十分に出来る。基本構想は、0歳から15歳までの保育、教育は同一敷地でないと駄目だという頑なな考えであるが、専門家の知識だけが絶対無二のような考えでは、町民の意見や我々の意見は反映されない。

したがって、町民不在と思われる3000万円の繰越明許には反対であり、修正動議に賛成する。



### \* 一部事務組合報告

## 補正予算を可決

伊達地方消防  
組合議会

12月20日に開催された第5回臨時会では、令和4年度補正予算について審議され、原案のとおり可決しました。

(報告者 渡辺勝弘)

## 副議長に

## 原賢志氏が当選

公立藤田病院  
組合議会

12月23日第4回臨時会が開催されました。

はじめに、空席となっていた副議長の選挙が行われ、桑折町選出の原賢志議員が当選しました。この他、職員の定年等に関する条例及び職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関する

る条例の一部を改正する条例、令和4年度補正予算が審議され、全て可決されました。

(報告者 浅野富男)

## 給与条例の改正等に 伴う人件費の増額

伊達地方衛生  
処理組合議会

12月26日に第4回臨時会が開催されました。

提出された案件は条例改正2件、給与条例の改正等に伴い人件費を増額する令和4年度補正予算(一般会計、し尿処理事業会計、ごみ処理事業会計)3件が審議され、すべて提案のとおり可決しました。

(報告者 八島博正)

## 維持管理費用などの 当初予算を可決

福島地方水道用水  
供給企業団議会

(自然の水を浄化し、水道水として国見町、福島市、桑折町など3市3町に提供する事務組合)

2月21日、企業団議会定例会が開催され、令和4年度補正予算、5年度当初予算、条例制定及び条例改正等合わせて5件についての審議が行われ、全議案が可決されました。

(報告者 東海林一樹)

※一部事務組合とは  
複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために  
設置する団体

# 選

# 挙

## 国見町選挙管理 委員・同補充員 の選挙

令和5年4月3日任期満了のため、議長指名により、次のとおり選出されました。

選挙管理委員

高橋 一博氏(高城・再任)

安藤 信男氏

(太田川・再任)

佐藤 吉茂氏

(徳江北・新任)

遠藤 豊和氏

(宮町北・新任)

補充員

松浦 光子氏

(大木戸・再任)

佐久間郁子氏(第11・新任)

富永 晃子氏(駅前・新任)

齋藤 嘉弘氏(並柳・新任)

# 議員活動報告

(令和4年12月議会から令和5年3月定例会前まで)

12月6日	12月定例会(～9日)	全議員
	あんぼ柿100周年記念式典(福島市)	議長
12月13日	全員協議会	全議員
	広報常任委員会	広報常任委員
12月16日	全員協議会	全議員
	地方自治研究交流セミナー	全議員
	広報常任委員会	広報常任委員
12月18日	あつかし山ビッグツリー点灯式	全議員
12月19日	広報常任委員会	広報常任委員
12月20日	伊達郡町村議会議長会議(福島市)	議長
12月26日	福島地方水道用水供給企業団 例月出納検査(福島市)	議長
12月27日	阿武隈川上流域下水道県北浄 化センター環境保全協議会	議長
	広報常任委員会	広報常任委員
1月4日	叙勲祝賀会並びに新春賀詞交歓会	全議員
1月5日	交通三団体交通安全祈願祭	議長
	広報常任委員会	広報常任委員
1月8日	町消防団出初式	議長
	はたちの成人のつどい	議長
1月11日	広報常任委員会	広報常任委員
	地方自治研究交流セミナー(川俣町)	全議員

1月20日	議員懇談会	全議員
	議会改革推進会議	全議員
1月26日	福島地方水道用水供給企業団 例月出納検査(福島市)	議長
1月30日	議員懇談会	全議員
2月6日	正副議長・委員長会議	議長ほか4名
2月7日	全員協議会	全議員
2月9日	広報常任委員会視察研修(～ 10日 群馬県玉村町、吉岡町)	広報常任委員
2月14日	総務文教常任委員会視察研修 (～15日 小野町、双葉町)	総務文教常任委員
2月21日	福島地方水道用水供給企業団 議会定例会(福島市)	議長
2月22日	議会運営委員会	正副議長、議会 運営委員
	全員協議会	全議員
	議員懇談会	全議員
2月27日	町村議会議長会第2回定期総 会(福島市)	議長
2月28日	福島地方水道用水供給企業団 例月出納検査(福島市)	議長

## みなさんからの 陳情

3月定例会では陳情1件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	日本労働組合総連合会 福島県連合会伊達地区連合会 議長 高橋誠一	採択

※議長は採決に  
参加しない。



委員会での陳情の採択を受け、慎重審議を行い、意見書をまとめました。  
議会で諮り可決されたため、意見書を提出しました。

## 意見書

3月定例会では意見書1件を可決し、国など関係機関へ送付しました。

**福島県最低賃金の引き上げ  
と早期発効を求める意見書**

政府の同一労働同一賃金の趣旨に鑑みるとともに、  
新型コロナウイルスの影響を見据えたセーフティネットの  
強化策及び人口流出抑制策として、最低賃金の引き  
上げと早期発効を求めるもの。

**可決**  
(全員賛成)

## ～10人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



# 町政を問う

一般  
質問

## 3月定例会

議員	質問事項	ページ
山崎 健吉	「くにみ学園構想」は町民の理解を得ているのか	16
松浦 常雄	巨額な費用を要する「くにみ学園」は必要か？	17
宍戸 武志	当町における地震災害予防対策支援について	18
	官民共創コンソーシアム（カプコ）について	
渡辺 勝弘	地域公共交通の課題についてどう向き合うのか	19
	まちなかタクシーの今後の運営対策について	
佐藤 定男	「くにみ学園」の基本構想を見直す考えはないか	20
村上 一	町の仮置場の現状と課題について	21
蒲倉 孝	幼稚園の入園、小学校・中学校の入学時費用負担支援の検討は	22
	学力向上に対する支援について	
小林 聖治	わが町におけるスケートボードパークによる振興策を考えていただきたい	23
	ワクチンの公費負担継続などについて、町の持っている計画は	
八巻喜治郎	地震により被災した道路等復旧の状況は	24
浅野 富男	国保の子どもの均等割の免除を考えてはどうか	25
	防災、救急の充実とは	

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

# Q 「くにも学園構想」は町民の理解を得ているのか

## A 今後も真摯に町民の理解を得るための説明を行う



山崎健吉議員

**学校教育課長** 建設候補地が決まった後に、通学方法について、検討することになる。

**教育次長** 1月に開催した策定委員会で国見小学校を加えて検討することとした。

**教育次長** 1月に開催した策定委員会で国見小学校を加えて検討することとした。

階なのでそこまで、考えていない。

**問** 委員のなかでも、令和10年には小・中学校共に単学級、保育所・幼稚園も、令和8年には60人規模との報告があるがどの様に反映しているか伺う。

**問** 「くにも学園構想」を実現するための、全体の資金計画と、町の負担金について伺う。

**問** 「くにも学園構想」については、今後しっかり町民に説明し、認定こども園を現在のくにも幼稚園に開園し、小・中学校については、推移を見ながら、現在の国見小学校に義務教育学校を開校することを提案する。

こども園の園児150人・小学生218人・中学生141人として計上した。

**問** 現在のスクールバスの運行台数と各地区の児童数について伺う。

**学校教育課長** 現在、小用スクールバスは地区ごとに、小坂1台・森江野2台・大木戸2台・大枝1台の計6台で97人が利用している。

**教育次長** 昨年の定例会で協議した内容は、令和元年当時のデータからの推計であり、今回の推計とは基準が異なる。

**問** 例えは上野台運動公園、一カ所に一貫校を集約すれば、他の教育施設はどのようになるのか、将来のビジョンを伺う。

**町長** 基本構想を理解してもらうことや、意見を出してもらう機会を設ける事は大切と思う。基本構想・基本計画をまとめる過程においては、開校時期とか建設場所・事業費などは、時期にこだわらず意見交換のなかから見えてくるものと思う。

**問** 昨年6月の定例会で「くにも学園構想」が初めて公表されたが、「認定こども園」の変更も報告せず、一貫校とした経緯について伺う。

針が決まってきたから、議論を進めていない。

**問** 構想において、令和9年度開校時の総児童数を509人とした根拠は何か。

**学校教育課長** 現在の児童数と今後の推移を計算し、認定

**幼児教育課長** 認定こども園の検討は、情報収集等にとどめており、一貫校の方

**問** 現時点で藤田地区は約180名が対象となりスクールバスは何台になるか。

**教育次長** 1月に開催した策定委員会で国見小学校を加えて検討することとした。

**問** 「くにも学園構想」は町民の理解を得ているのか

**問** 今後の説明について、町民の理解を得るための説明を行う

**問** 今後の説明について、町民の理解を得るための説明を行う

**問** 今後の説明について、町民の理解を得るための説明を行う



# Q 巨額な費用を要する「くにみ学園」は必要か？

## A 構想の白紙撤回は考えていない

ている候補地については、基本計画の中で検討する。場所が決まれば、スクールバス運行をはじめ、ソフト面の検討を進めることになるのでご理解願いたい。

**問** 現在は、小学校を卒業して中学校へ入学するという区切りのイベントがあるが、義務教育学校になればそのようなことがなくなる。このことにはメリットだけでなくデメリットもあるのではないかと。

測される。まだまだ使える校舎等を捨てて、新しい場所に「くにみ学園」を創ることは、大きな財政上の無駄である。財政が先細りする過疎の町で、町民に大きな負担を負わせるこの計画は白紙撤回すべきであると思うがどうか。

**町長** 現在子育てをしている保護者や教員など専門的な知識を持った人たちがまとめた「くにみ学園基本構想」をむげに否定することはできない。理解してもらえないような取組は続けていきたい。

**問** 新しい学校を創るには、誰にでもわかる必然的な理由がある。「くにみ学園」を創る必然的な理由があるのか。

からの時代を生きるための新しい理念の教育が必要である。以上がその理由である。

**教育長**

①小1プ  
ロブレム、

②中1ギャップ、③児童数減による小学校高学年の教科担任の問題等がある。また、これ

**問**

くにみ学園構想は、教育の専門家を交えて策定したと言うが、議会や広く町民の声を反映していない。そうした声を反映し、さらに財政をも

**教育長**

引き続き、くにみ学園

基本構想を説明し、理解を深めてもらう。その次の「基本計画」を創る段階で場所の選定や財政の問題は検討されるものとなる。

**問**

国見小がある藤田地区の児童は徒歩通学である。これらの児童は、建設地によってはバス通学となり、児童の健康面が心配。あえてそこまでする必要はあるのか。

**教育長**

基本構想の中で示し

**問** 多額の費用がかかることが予

**教育長** 小学校から中学校への接続が緩やかになることは、義務教育学校の大きなメリットの一つ。デメリットの解消策は、先進事例を参考に検討していく。



松浦常雄議員



築10年程度と比較的新しい国見小体育館

# Q 当町における地震災害予防対策 支援について

## A 耐震化対策を強力に推進している



戸武志議員

件。理由は、費用の問題、検討中など様々。

**問** 今後の耐震改修促進の取り組みと課題は。

**建設課長** 今年度から耐震診断を受けて行う建て替えに対する補助、さらには、ブロック塀の耐震改修に対す

る補助も行っている。制度の周知は、広報、全戸配布チラシに加え、診断後、改修を行っていない方への通知等で促している。診断申込件数は増加しており、これを改修に繋げることができているが重要。

**官民共創コンソーシアム(カプロ)について**

**問** カプロの団体等の数を伺う。

**企画調整課長** 現在、13社1団体及び有識者1名の合計15件。

**問** カプロの運営事務局は(株)ワンテール社が担当とのことだが、第1回会合の内容を伺う。

**企画調整課長** 当町の課題全般について問題を示し、加入

企業がどのように対応できるかを検討した。その後も定期的に打ち合わせを行っている。

**問** 官民共創コンソーシアム運営に関する経費として3年間で総事業費1億600万円が計上されている。期間は2021年4月1日～2024年3月31日。

この内容で間違いはないか。

**企画調整課長** 新型コロナウイルスの影響で、事業を進められない時期があり、2530万円減額し、8130万円となっている。期間はお質しのとおり。

**問** 数値目標として、①町内への進出企業数、②本プロジェクトから生まれる移住・定住者数、③コンソーシアムへの参画

する自治体・企業(団体)数④カプロから生まれた新規事業創出数が定められている。現在の実績及び到達目標を伺う。

**企画調整課長** ①現在は3社。②現在は0。目標は15名。③現在は15社。目標は45社。④現在は3件。目標は15件。

**問** カプロから生まれた成果を具体的にどう活かしているのか。現在の課題・今後の課題を踏まえ展望を伺う。

**企画調整課長** カプロでは、現在町が直面する課題について、民間のノウハウを様々な取り組みに活かして、その成果を当町の持続的発展に繋がたい。

**問** 当町には1981年5月以前の旧耐震基準で建てられた木造住宅は何件位あるか。

**建設課長** 平成30年度のデータでは、665件ある。

**問** 診断後、改修した件数と行われていない件数は。また、その理由は何か。

**建設課長** 改修を行ったのは13件。未改修は建て替え等を除くと33

**問** その内、耐震診断を何件行ったか。

件。未改修は建て替え等を除くと33



東日本大震災では、耐震性能を有さない家屋の多くが甚大な被害を受けた

# Q 地域公共交通の課題について どう向き合うのか

## A 所管する係を新設して対応を明確にする

公共交通のあり方を検討していききたい。

**問** 新たな事業を実現するため、最大限の努力を行ったと思うが、どのような努力を行ったのか。

**町長** は、町として危機感を持って持っている課題の一つであり、今後は、住民防災課の中に生活交通係を設けることにした。

**町長** 地域公共交通は、町として危機感を持って持っている課題の一つであり、今後は、住民防災課の中に生活交通係を設けることにした。

**問** 運行状況・配車状況は出来ても、様々な意見要望などは、どのようにして捉えるのか。

**住民防災課長** 新年度より、交通にも特化した生活交通係において直接町民の皆さんから意見をお聞きするなどして、改善対応に当たりたい。

**問** 公立藤田総合病院を核としたデマンドの在り方として実証実験を行ったがその結果はどの様になったのか。なぜ、その結果報告がなかったのか。

**住民防災課長** 実際の利用者の7割が藤田病院に集中していること

**問** 何のための実証実験で、事業目的は、何だったのか。

**住民防災課長** まちなかタクシーの利用者の7割が藤田病院に集中していること

**問** 約2200万の経費を掛けた実証実験であるが、あえて2年間持続した理由は。

**住民防災課長** 実証実験であること

**住民防災課長** 交付金を活用しながら本事業を進めてきた。

**副町長** デマンドを含めた地域公共交通は様々な課題を抱えている。この事業の結果も踏まえて、今後の国見町の公

**問** この実証実験の結果を受けて当町は、どのように進んでいくのか。

**住民防災課長** 新たなシステムを導入は困難であることから、現システムによりオペレーション機能を増強させ、様々な問題を軽減した形での改良を目指したい。

**住民防災課長** 新たなシステムを導入は困難であることから、現システムによりオペレーション機能を増強させ、様々な問題を軽減した形での改良を目指したい。

**問** 令和3年9月で商工会の業務委託が終了して、10月より町が直接運営を行っているがどのようになっているのか。

**住民防災課長** 令和3年10月から町が運行業者（三協ハイヤー）と委託契約を結び、これまでの運行体系を引き継ぎ運行している。



渡辺勝弘議員



公立藤田総合病院デマンド交通実証実験の様子

**Q 「くみにみ学園」の基本構想を見直す  
考えはないか**

**A 策定委員会で議論された理念であり  
理念のとおり進めたい**



佐藤定男議員

今のくみにみ幼稚園は広さも十分であり、管理の面からも、小中一貫校と分離して「認定こども園」としてはどうか。

**幼児教育** 認定こども園として

ただであれば広さは十分である。

**教育** 認定こども園と小中一貫校

は、現実の課題を考えると、一体的なつながる学園が良い。

**問** 大きな校舎と  
多人数の園児・  
児童・生徒をきちんと  
管理するのは容易では  
ない。二つに分けて、

**問** 構想では0歳  
から15歳までの  
全員を一つの敷地にま  
とめようとしている。

園」は保幼小中を同じ敷地にまとめ、日常的に連携交流を図ることで、学び合い、育ち合うことができると考えている。

**問** 今も保幼小中の一貫校を実施している。新しい「くみにみ学園」は何が違うのか。

**学校教育** 新しい「くみにみ学  
校」

認定こども園と小中一貫校は別々の場所、建物で運営した方がゆとりもあるし、目が届きやすいのではないかと。

**教育現場** 教育現場の課題として

幼小の連携・接続が重要とされている。教師間の情報共有、幼児・児童の交流が大事であり、いつでも対応できるように同一敷地内の建物が望ましいと考えている。

**問** 小中一貫校を  
「義務教育学校」  
として社会の変化に  
対応しようとするのは  
理解する。ただ、その  
場合今の国見小、ある  
いは県北中の校舎を土  
台としたもので十分で  
はないか。新しい校舎  
は費用もかかる。所見  
を伺う。

**教育長** くみにみ学  
園の校舎を  
どうするか、場所も含

めてリノベーションか、新しく建てるかを基本計画の中で検討していく。

**たいが、如何か。**

校舎をどうするかは候補地をどこにするかで決定されるかと考えている。認定こども園と小中一貫校（0歳から15歳）の一体化という基本構想は、知見を有する策定委員会（大学教授、現場の先生、保護者）で議論した理念である。

**問** 今後、基本構  
想に沿って基本  
計画が策定されると思  
う。その際、認定こ  
ども園と小中一貫校は分  
離する、校舎は既存の  
建物を優先するとい  
う考えを是非とも選択肢  
に加えて議論いただき

園の校舎をどうするか、場所も含

理念のとおり進めたい。



園舎、園庭ともに広く、広さが  
実感できる「くみにみ幼稚園」

# Q 町の仮置場の現状と課題について

## A 返納した土地は適正に利用されるよう、必要に応じ指導する

完了前にフラフ燃料を搬入し保管している為、至急搬出するよう指導通知をした。引き続き県と連携し、早急なフラフ燃料の搬出と農地転用許可内容に沿った工事施工を指導していく。



資材置場となっている山崎字前柳地内の土地

**問** 返地された農地が転用され、その後周辺農地と住環境に悪影響を与えている場所もある。町内の仮置場の現状と返地後の利用状況及び課題について伺う。

次返地を行っており、今年度3月末をもって全ての仮置場の返地が完了する見込みとなっている。

一部を除いて農地として利用されている。

**問** 仮置場となっていた大字山崎字前柳地内の土地に予定されていたバイオマス発電用の資材置場は、周辺環境に影響を及ぼす事案が発生し、(株)ログホールディングスが住民説明会を行った結果、現地からの撤退を表明した。それに伴い、早急に現有保管物を搬出する対策を講ずるべきと考えるが、このことについて町の考えを伺う。

**問** 搬出時は(株)ログホールディングス社保有の運搬車を使用する事になるが、この運搬車は総重量20t以上の特殊車両で、広域農道を経由し、徳江大橋を通るルートになる。しかし、徳江大橋は来年度改修工事が行われ、通行ができなくなる予定である。改修終了後は、これら特殊車両の通行が許可されるのか伺う。

車両の通行は許可していない。橋の修繕完了後、道路法に基づき通行申請内容を審査し、通行を許可するか判断する。

**問** 仮置場の現状、返地後の土地利用状況を伺う。

返地した土地は、

**建設課長** 町内11カ所の仮置場について、令和元年度から順

**農業委員会事務局長** 仮置場の現状は、

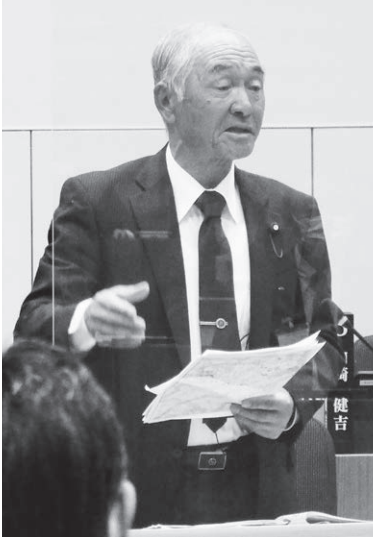
返地した土地は、

現在、徳江大橋は定期点検の結果一部損傷が確認されたことから、道路の建設重量を超える特殊

**農業委員会事務局長** 仮置場11カ所のうち農地は9カ所だが、農地転用許可した大字山崎字前柳地内を除くと現時点で農地は8カ所である。この8カ所については、国見農業振興地域整備計画

は、農業振興を図る農地として活用していく事になる。

※フラフ燃料  
廃プラスチック類を主原料とした、細かく砕かれた状態の燃料。製造過程で加熱されないため、環境負荷が低いとされている。



村上 一議員

**農業委員会事務局** 農地転用の工事

現在、徳江大橋は定期点検の結果一部損傷が確認されたことから、道路の建設重量を超える特殊

は、農業振興を図る農地として活用していく事になる。

## Q 幼稚園の入園、小学校・中学校の入学時費用負担支援の検討は

A 子育て最中のお母さんお父さんたちに  
 実際何を求めているか調査し判断する



蒲倉 孝議員

### 町長

子育て支援の仕方には、クーポン券も含めて現金の支給と、子育てのサービスの充実の2つあり、両方行うのが一番良いと思う。

しかしこれには、国・県の責任分担があり、国見町は、まずサービスマネジメントを充実させて、子育てをしている時の報われ感などを伝えたいと思う。

今後、子育て真っ最中のお母さんやお父さんたちとタウンミーティングを行い、実際何を求めているのか調査し判断させていただきたい。



国見小学校入学式の様子  
 (写真は令和4年度)

### 町長

現在、当町独自に行っている子育て支援について伺う。

### 幼児教育課 課長

令和3年4月から実施している、幼・小中の給食費無料化。幼稚園では、朝と午後の預かり保育、栄養士や食生活改善推進員による食育教室。

小学校では、学童保育・地域学校協働本部事業として国見っ子わんぱく広場や少年仲間づくり教室。また、不登校児童生

徒の支援として、教育支援センター「ステップ」を開校し、専門スタッフによる指導を行っている。

赤ちゃんが生まれた時、すすくももさぼ祝金10万円を町独自で支援している。

### 学力向上に対する支援について

### 町長

公営塾ハルや民間の学習塾など高校入試に特化した支援は行っているか。

### 生涯学習課 課長

学習塾への支援は実施していないが、放課後に柏葉体育館会議室にて講師へ質問できる学習室、観月台文化センターロビーやラウンジにて自主学習出来るフリー学習室を開設している。公営塾ハルでは、中学3年生を対象に学習支援のハル道場を実施

### 町長

福島市内などの子ども達もいるが、今後高校入試に特化した公営塾を開校する検討があるか伺う。

### 生涯学習課 課長

公営塾ハルは、学力や探求力のバランスの取れた教育を目指し指導・運営しており、通塾した児童生徒たちの成長とともに教育の成果は現れるものと考えている。

現在の取組を継続し、拡充に対してはニーズを踏まえて検討していく。

### 町長

入園・入学の際に制服や運動着などの一時金負担があるが、幼稚園・小学校・中学校が用具販売

店の方々へお伺いし現状をお聞きした。

全て把握している状況ではなかったが、幼稚園約2万5千円・小

学校約5万4千円・中

学校約9万円。実際は、幼稚園6万円、小学校10万円、中学校15万円が平均の負担額となっている。

数年前は、現金ではなくクーポン券にて支援していた経緯があるが、検討が出来ないか伺う。

今後、子育て真っ最中のお母さんやお父さんたちとタウンミーティングを行い、実際何を求めているのか調査し判断させていただきたい。

また、不登校児童生

また、不登校児童生



## Q わが町におけるスケートボードパーク による振興策を考えていただきたい

**A** 愛好者の方々との意見交換をさせてもらい、  
それからの検討と考えている

**問** 東京オリンピックで日本選  
手の活躍に心動かされ  
たスケートボード競技  
など、アーバンスポ  
ーツがパリオリンピック  
の正式種目になってい  
るが、町における振興  
策の検討状況は。

**生涯学習  
課長**

アーバン  
スポーツと

は、日常生活を過ごし  
ている都市を舞台に繰  
り広げられるスポーツ  
のことで、順位を競う  
ものではなく、自らが  
楽しみ、仲間や見る人  
たちも一体となって楽  
しむスポーツ。202  
4年パリオリンピック  
では、バスケットボー  
ル3×3、自転車競技

のBMX、スケート  
ボード、ブレイキンな  
どが正式種目となっ  
ている。

今後、総  
合型スポ  
ーツクラブ設  
立に合わ  
せ、地域の  
ニーズ把握  
に努めてま  
いりたい。

**問**

町内のス  
ケートボー  
ド愛好者との  
懇談の中  
で、福島市  
などの施設



宮城県亘理町にあるスケート  
ボード施設

に行つて練習などをして  
いるが、わが町にも  
そういった施設があれば  
ありがたいとのこ  
と。そこで、若者など  
を引き込む地域の魅力  
や、アーバンスポーツ  
愛好者や観戦者のツー  
リズムを生み出すた  
め、ぜひ、わが町にお  
けるスケートボード  
パークによる振興策を  
考えていただきたい。

**教育長**

今の子ど  
もたちが本  
当にやりたいスポー  
ツが多様化しているとい  
うことは確かにあると  
思う。お質しの部分だ  
が、具体的にそれが国  
見町でできるかどうか  
については、愛好者の  
方々との意見交換など  
をさせてもらい、具体  
については検討させて  
いただきたい。

**問** 政府では、今  
年の5月8日か  
ら新型コロナウイルスの  
2類から5類に見直す  
こととしているが、5  
類となることで、公立  
藤田総合病院、北福島  
医療センターの発熱外  
来はどうなるのか。

**ほけん  
課長**

地域の医  
療機関での  
診察が基本となること

から、公立藤田総合病  
院では、発熱外来では  
なく診療科ごとに診察  
が行われることとな  
る。北福島医療セン  
ターにおいても、仮設  
の発熱外来の設備を撤  
去する方針と聞いてい  
る。

**問**

高齢者は年に  
2回接種を受け  
るということから、公  
費負担の継続などが報  
道されているが、現段  
階では、町はどのよう  
な計画を持っているの  
か。

**ほけん  
課長**

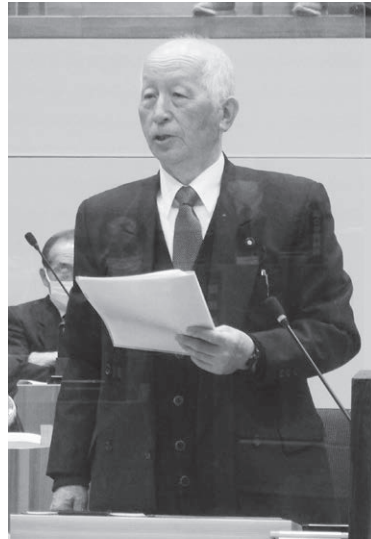
国から示  
されたいな  
いが、新たな接種がス  
タートする前には、町  
民の皆様にお知らせ版  
やホームページなどで  
周知を展開してまいり  
たい。



小林聖治議員

## Q 地震により被災した道路等復旧の現状は

**A** 復旧工事を順次進めている。必要な場合は強化・リニューアルも実施したい



八巻喜治郎議員

## 問

桑折町にある  
県道浪江国見線

の伊達崎橋が地震被害により大型自動車通行止めとなり、町道4号線広域農道が迂回路指定道路となった。そのため、大型車をはじめとした河川工事用車両や一般車両等の交通量が多くなり、道路の損傷している箇所が多くある。今後、これらのような道路の整備はどのようにするのか、見直しを伺う。

## 問

町道4号線広  
域農道の道路復

旧のために、修繕計画、設計、工事費など多額の費用が発生すると見込まれるが、その財源についてはどのように町として考えているのか伺う。

## 建設課長

町道4号につ  
いては、国の補助事業及び復興基金を活用したいと考えている。

町では、令和5年度から年次計画により地盤改良等、舗装を厚くする等リニューアル工事を実施したいと考えている。

国見町の文化財である石母田供養塔がある。路肩部分が崩落して被害が拡大することを危惧している。早急な対応をして頂きたい。

## 問

地震被害により、町道4号線広域農道の徳江大橋は通行止めにはなっていないものの、欠損や破損している箇所があると聞いているが、橋のどの部分の欠損や破損なのかを伺う。

## 建設課長

徳江大橋の構造に影響する損

傷箇所は、橋の中央部、車道を支える鉄骨と鉄骨を繋いでいるボルトの緩みと脱落。また、鋼鉄製の横桁1カ所の変形が確認された。応急処置として脱落したボルトの仮締めを行っている状況である。

## 建設課長

町では、町道の増加に対応した強化

な道路を目指している。

## 問

石母田地区に  
ある町道200

9号線は、二度の地震被害により道路の路肩が崩落している箇所がある。

この沿線には、町内外の歴史愛好家が訪れ



徳江大橋・町道4号(広域農道)の現状



# Q 国保の子どもの均等割の免除を 考えてはどうか

## A 法定外繰り入れは解消すべきと されている

**問** 国保では所得割、平等割、均等割が積算の基として割り当てられる。同じ医療保険であるのにこのようなことは矛盾しないのか。

国保では所得割、平等割、均等割が積算の基として割り当てられる。同じ医療保険であるのにこのようなことは矛盾しないのか。

**問** 当初よりは減額したが公的資金を投入しているというのは、この制度は社会保障の中の一つとしての位置づけか。

当初よりは減額したが公的資金を投入しているというのは、この制度は社会保障の中の一つとしての位置づけか。

**課 長** 国民健康保険法第81条の規定により国の基準を超えて独自に制度

**課 長** 国民健康保険法では

**問** 保険税は応能負担の原則からすると所得割だけとするべきであるが、少子化が進む中、本町の少子化対策、子育て支援の施策として、中学生以下の均等割の免除を  
考えてはどうか。

その目的を国保事業の健全な運営を確保し、社会保障と国民保健の向上に寄与すると規定されている。国においても社会保障の一つとして位置づけられている。

**防災、救急の  
充実とは**

**問** 令和4年3月に官民共創コンソーシアムを設立とある。令和3年度の当初に計画されたものか。

令和4年3月に官民共創コンソーシアムを設立とある。令和3年度の当初に計画されたものか。

**問** 寄付金について「まもるプロジェクト」の防災、救急の充実の事業に充当するとあるが、どのような事業を想定していたのか。

「まもるプロジェクト」の防災、救急の充実の事業に充当するとあるが、どのような事業を想定していたのか。

した。地域医療体制、防災拠点施設、民間企業との連携、消防、救急体制、消防団と常備消防等の充実・強化などに関連する事業すべてを想定している。

**問** 今回の企業版ふるさと納税に関する事業については、町民から疑問を持たれている。このような事態を招くことのないように進めるべきではないか。

今回の企業版ふるさと納税に関する事業については、町民から疑問を持たれている。このような事態を招くことのないように進めるべきではないか。

**町長** 計画で町民のために実施した

計画で町民のために実施したことで行政と違う受け止め方になっていく。新しいことを始める時は疑義を持つ人たちがいることを把握し、町の考え方を伝え、意見を聞くという姿勢を十分に行いたい。



浅野富男議員

**課 長** 特定の対象者の方に

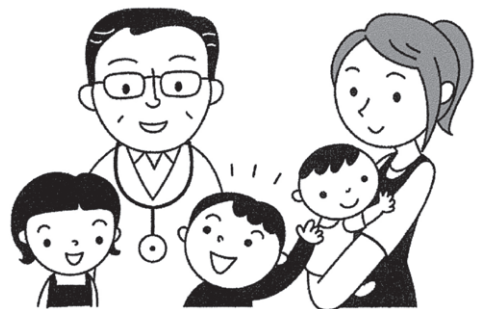
基準を設けて減免を行う

**課 長** 施政方針

の概要の資料

**課 長** 第6次総合計画では

16の施策を重点事業と



## 過疎化と防災対策

私の住む川内地区は、地名に川がつくことから、太古の昔は、河道であったとされています。

まだ記憶に新しいですが、令和元年の豪雨では、滝川の堤防が決壊し、堤防の反対側にある徳江地区を中心に、県北浄化センターをはじめ、付近一帯が水没しました。

私は当時、近所の高齢者を大枝地区の東部高齢者等活性化センターへ避難させ、夜を徹し皆で警戒活動をしました。

夜が明け、近くの富士見橋から一帯を眺めたところ、まるで大きな湖のような状態に絶句したことが思い出されます。

もし、川内地区の住家が多い側の堤防が決壊したらと思うと、今でも背筋が凍ります。そこで、わが地区の場合は水

害に対する防災意識を常に持ち、普段から、特に高齢者で移動もままならない方々の避難所への誘導、避難経路などを事前に決めておくことが大切だと思います。

国見町でも、昨年、国から過疎指定を受けたと聞きました。この川内地区でも、ひとり、またひとりと住民が減っています。

また、水害における避難の命綱ともいえる東部高齢者等活性化センターの体育館が、地域の方々からの強い要望で、廃止せずに当面存続されると聞きました。

行政にお願いしたいことは、効率ばかりを追い求めず、町民みんなに優しく、思いやりのある施策を講じてほしいということですね。

若者や子どもたちが夢や希望を持ち、若いお母さんたちが安心して子どもを産み育てることができ、働く世代、お年寄りの方々が充実した毎日を送らせる国見町を創っていただきたいと思います。



鈴木 力さん  
(川内町内会)

### 傍聴者からの声



3月議会を傍聴したみなさんからアンケートによりたくさんのご意見をいただきました。(抜粋)

- くにみ学園構想によって魅力が出来、各地区からの移住・定住により人口増にけるのも望ましい。何もないよりは良いのではないかと。(70代・男性)
- くにみ学園構想については、庁舎内に係を設けるなど本気で取り組み願いたい。議会においても専門の委員会を開設する等、移住・定住についても同様な考えに立たなければならぬと思う。(70代・男性)
- 知らないところで進んでいる、一方ではやることはやっている。周知することは難しい。報告・連絡は密にやるしかないと思う。(70代・男性)
- 同じ質問が多いように感じた。くにみ学園については一問一答ではなく、一括して答弁したほうが良いのでは。時間の制約上。
- 夜の傍聴にすれば、町民も多く傍聴に来るのでは。日中では年配者しか来れない。(年代不明・男性)

### 編集後記

編集時の3月には、第5回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)が開催されており、決勝まで勝ち進んだ「日本」が米国に3-2で勝ち、3大会ぶり3度目の優勝を果たしました。また、統一地方選挙戦がスタートし、9つの道府県で知事選挙が告示されました。

3月2日の新聞報道では、6月18日任期満了に伴う国見町議選(5月23日告示・5月28日投票日)が掲載されました。そのため、3月定例会は、私たち任期中の最後の議会であり、議会だよりも現在のメンバー最後の発行となりました。

広報常任委員会ではこれから、町民の皆さまから手に取ってもらえるよう、見やすく・読みやすい紙面づくりを心がけてまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。(蒲倉 孝)

- 発行責任者 東海林 一樹  
議長 渡辺 勝弘  
広報常任委員長 蒲倉 孝  
副委員長 八島 博正  
委員 小林 聖治  
同 山崎 健吉  
同 八巻喜治郎

